



見えない支え、見える安心

大田区立御園中学校 三年 柳館 彩音

先日、母と歯医者に行きました。しかし、母は治療費を払わずに歯医者から出たのです。私は驚いて母に「何で治療費払わないの」と聞きました。すると母は「うちの家は無料だよ」とあっさり答えました。理由を聞いてみると、シングルマザーの家庭で、子どもの治療費がかからない制度があるということです。私は驚きました。なぜ無料になるのか、どうしてそんな制度があるのか、そこには「税金」という支えがあると知りました。

私たちが普段払っている税金は、道路を造ったり、消防や警察を維持したりするだけでなく、困っている人たちを支えるためにも使われています。特に、シングルマザーのように、一人で子育てをがんばっている家庭に対して、税金を使った支援制度があります。その一つが「子ども医療費助成制度」です。この制度によって、多くの自治体では、子どもが高校を卒業するまでの医療費が無料、またほとんどかからなくなっています。歯医者には特に治療が長引くことが多く、治療費も高くなることがあります。シングルマザーの家庭では、収入が限られていることが多いため、もし治療費をすべて自分で払わなければならなかったら、子ども

もが痛くても我慢しなければならない場合もあったかもしれません。

でも、税金によって費用が助成されていることで安心して治療を受けることができます。病気やケガを治せる環境があるというのは、当たり前のように、実は多くの人の支えがあつてこそだと気づきました。

私たちは買い物をするときに消費税を払っていますし、大人になると給料からも税金が引かれます。そのとき「自分のためになっていない」と思つかもしれません。でも、税金は「自分のため」だけでなく、「誰かのため」にも使われるものです。自分が困っていなくても、困っている誰かの生活を支える力になる、それが税金の役割だと思います。

私は今まで、税金について深く考えたことがありませんでした。ただ「お金をとられるもの」と思っていたかもしれません。

でも今回、母の話しや調べたことをきっかけに、税金は人を支えるための「思いやりのお金」だと感じるようになりました。自分のお金が、誰かの健康や未来を守ることにつながっていると考えると、税金を払うことも前向きな気持ちになれます。

そして、税金は自分の生活を守るものでもあり、同時に他の人の生活を守る大切なものだと感じました。

これから大人になり、働いて税金を払う立場になったときは、ただ支払うだけでなく使い道にも関心を持ちたいと思います。

そして、自分の税金が誰かの笑顔や安心につながることを、誇りに思えるような社会であってほしいと思います。